

公益社団法人都市住宅学会・2019年度事業報告

(2019年4月1日より2020年3月31日まで)

1. 総会の開催

(本部)

2019年度通常総会を開催	5月27日
(東北支部)	
2019年度通常総会を開催	4月19日
(関東支部)	
2019年度通常総会を開催	4月17日
(中部支部)	
2019年度通常総会を開催	4月20日
(関西支部)	
2019年度通常総会を開催	4月20日
(中国・四国支部)	
2019年度通常総会を開催	4月13日
(九州支部)	
2019年度通常総会を開催	4月13日

2. 理事会及び常務理事会の開催

・理事会 5回開催 メール審議2回

第1回理事会	2019年5月27日
第2回理事会	2019年5月27日
第3回理事会	2019年9月27日
第4回理事会	2019年11月30日
第5回理事会	2020年3月6日

・常務理事会 6回開催

第1回常務理事会	2019年5月17日
第2回常務理事会	2019年7月19日
第3回常務理事会	2019年9月27日
第4回常務理事会	2019年11月15日
第5回常務理事会	2020年1月17日
第6回常務理事会	2020年3月6日

3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施

4. 学会誌の発行

・学会誌「都市住宅学」を4回発行

2019年度春号（第105号）	2019年4月30日発行
2019年度夏号（第106号）	2019年7月31日発行
2019年度秋号（第107号）	2019年10月31日発行
2019年度冬号（第108号）	2020年1月31日発行

5. 第27回学術講演会の開催

・都市住宅学会第27回学術講演会を次のとおり開催
(1) 日時：2019年11月30日、12月1日、2日
(2) 場所：東北大学 片平キャンパス
(3) 内容：研究発表（10題）、メインシンポジウム
ワークショップ、見学会

6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

(本部)

・公開市民フォーラム
2019年5月27日 住宅金融支援機構 すまい・るホール
「子育て・子育ちをめぐる住まい・住環境の課題」

・学生論文コンテスト
(博士論文部門) 開催延期
(卒業論文・修士論文部門)

2020年3月16日 ステージビルディング会議室(審査会場)

・交流研究会
マレーシア住宅・建築事情調査（関東支部・関西支部共催）
2020年3月11日～3月15日

(関東支部)

・講演会

2019年4月17日（水）
「ストック時代のわが国の建築・建築産業の課題と展望
～マクロの観点からみたリノベーションの必要性と可能
性～」
講師：田村誠邦氏（株式会社アーキプレイン代表取締役、
明治大学特任教授）

・第2回学生懸賞未来社会エッセイコンテスト

テーマ「私たちが暮らしたい都市と住宅」

(1) 大学生部門

(2) 大学院生部門

応募期間：2019年9月30日（月）～2020年1月8日（水）

(中部支部)

・総会講演会

2019年4月20日

講師：市来広一郎氏（株式会社 machimori 代表取締役 / NPO
法人 atamista 代表理事）

テーマ：「熱海の中心市街地のリノベーション～民間主導
の公民連携によるまちづくり～」

・若手研究者講演会

2019年9月28日

「地域の建築文化の継承と暮らしの再考 一復興まちづく
りと地域活性化の試みを通してー」

講師：佐藤 布武氏（名城大学理工学部建築学科助教）

（参加者：32名）

・空き家セミナー

2019年7月31日

「空き家発生のメカニズムと利活用の現状」～空き家相談
2018年80件からの報告～」

講師：吉田貴彦氏（株式会社住宅相談センター代表取締役）

(参加者：47名)

2019年11月16日

「空き家対策 ドイツの現状・対策と居住環境管理コミュニティマネジメント」

講師：室田昌子氏(東京都市大学環境学部環境創生学科 教授) (参加者：42名)

(関西支部)

・総会記念フォーラム

2019年4月20日

「戸建住宅を含むニュータウン全体の住み替えにおける3公の連携」

会場：大阪市立大学 文化交流センターホール

主旨説明 安枝 英俊（兵庫県立大学准教授、団地における3公の連携研究委員会）

話題提供①：明舞ニュータウンにおける取組

・初田 直哉（ハツダ商店・くるくる明舞運営委員会事務局）

・神吉 竜一（前）兵庫県住宅供給公社 住宅企画部 明舞団地再生課）

話題提供②：泉北ニュータウンにおける取組

・米田 淳（大阪府不動産コンサルティング協会 会長）

・上甲 俊消（前）大阪府住宅供給公社 住宅整備部次長）

話題提供③：洛西ニュータウンにおける取組

・西山 亨（独立行政法人都市再生機構西日本支社京奈エリヤ経営部団地マネージャー）

・生川慶一郎（京都市住宅供給公社）

・安枝 英俊（兵庫県立大学、洛西 NT アクションプログラム推進会議住宅・拠点関係 IVG）

パネルディスカッション：

コーディネーター：安枝英俊（兵庫県立大学准教授）

パネラー：初田直哉・神吉竜一（明舞 NT、前出）

米田淳・上甲俊消（泉北 NT、前出）

西山亨・生川疫一郎（洛西 NT、前出）

塚本賀昭（独立行政法人都市再生機構西日本支社）

コメントーター：角野幸博（関西学院大学総合政策学部教授）

三浦研（京都大学大学院工学研究科）

・見学会

「まちのね浜甲子園見学会視察」

日時：2019年9月28日

場所：HAMACO：LIVING (参加者13名)

＜まちのね浜甲子園＞

浜甲子園団地エリアの再開発に伴い民間開発事業者とUR都市機構の官民連携パートナーシップによって設立されたエリアマネジメント組織。新街区住民や管理組合も会員となり、コミュニティ醸成や地域課題解決を目的とした取組みを展開。

デベロッパーの寄付金と住民会費、事業収入により運営し常駐スタッフがコーディネート。住民が企画運営する事業も拡大しており将来は住民による運営を目指す。近所の繋がりづくりや担い手育成、新たな自治の仕組みづくりに取り組んでいる。2019年都市住宅学会・業績賞を受賞。

「多世代型介護付きシェアハウス「はっぴーの家ろっけん」視察」

日時：2020年1月7日（火）15:00~17:00

場所：はっぴーの家ろっけん

＜はっぴーの家ろっけん＞

神戸市長田区六間道商店街の一画にあるサービス付高齢者向け住宅。入居者の介護度は様々で、重度の認知症の入居者も在住。その場所に小学生、乳幼児連れの母親、引きこもりの学生、外国人、アーティスト、DV避難者など、様々な年代立場の人が自然に集まり、地域ぐるみの大家族のような関係性が生まれている。各自が自由な時間を過ごしながらも自発的に互いに助け合い、自己肯定感を向上させる取り組みは、入居者にも良い影響を与え、医療従事者が驚く身体的な回復や、精神的な安定にも寄与している。

・学生研究発表交流会

2019年9月28日

武庫川女子大学 中央図書館

(参加者15名)

(中国・四国支部)

・講演会

2019年4月13日 広島工業大学 広島校舎402号室

テーマ：新たな地方移住の動向と空き家活用の可能性について

講師：山田和孝氏（広島県地域政策局地域力創造課課長）

・見学会

期日：2020年1月25日（土）-1月26日（日）

テーマ：「広島県・瀬戸内海沿岸の空き家・空き施設活用事例を巡る」

見学場所：江田島市・コミュニティスペース「フウド」

御手洗地区空き家活用事例

竹原市町並み保存地区

参加者：10名

(九州支部)

・支部総会記念企画

「美奈宜の杜見学会」2019年4月13日

①説明会

講師：坂井秀敏氏（美奈宜の杜地区コミュニティ協議会会長）

鶴田一氏（美奈宜の杜地区コミュニティ協議会元会長）

濱田幸吉氏（美奈宜の杜地区コミュニティ協議会事務局長）

西日本ビル株式会社（開発・管理主体） 担当者

②見学会

案内：坂井秀敏氏（美奈宜の杜地区コミュニティ協議会会長）

・都市住宅学会九州支部優秀学生賞（学生表彰事業）

募集期間：2020年2月17日～2月26日

7. 学術的研究活動の活性化

学際的研究活動をさらに活性化するため、都市住宅研究

センターにおける自主研究を実施するとともに、各支部における会員増の促進を図ること等を通じて各支部活動の支援を行った。

8. 関係学会等との連絡等

都市住宅に関する学術的研究の進捗普及を図るために、内外の関係学会等との連絡及び協力を図った。

本年度も「学術交流に関する覚書」を締結した韓国住居学会との交流を継続した。

9. 調査研究の受託について

昨年度に引き続き、都市住宅学関連の諸団体からの調査受託を行い、各調査委員会を設置して調査研究を実施した。

10. 本部及び各支部による委員会等活動

(本部)

・総務企画委員会（5回開催）

第137回 2019年5月17日

第138回 2019年7月19日

第139回 2019年11月15日

第140回 2020年1月17日

第141回 2020年3月6日

・学術委員会（1回開催）

第80回 2019年9月26日

・編集委員会（4回開催）

第135回 2019年5月29日

第136回 2019年9月25日

第137回 2019年12月5日

第138回 2020年2月19日

・学会賞委員会（3回開催）

第81回 2019年5月16日

第82回 2019年7月24日

第83回 2019年10月4日

・業績賞委員会（2回開催）

第27回 2019年4月8日

第28回 2020年2月10日

(東北支部)

・東北支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2019年4月19日

第2回常議員会 2020年3月6日

・2019年学術講演会実行委員会（3回開催）

第1回学術講演会実行委員会 2019年4月19日

第2回学術講演会実行委員会 2019年9月13日

第3回学術講演会実行委員会 2019年11月22日

(関東支部)

・関東支部 常議員会（4回開催）

第1回常議員会 2019年6月17日

第2回常議員会 2019年9月17日

第3回常議員会 2019年12月9日

第4回常議員会 2020年2月10日

・見学会 「京島周辺地区」

2019年11月22日

説明者：独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部
密集市街地整備部 城東都市再生事務所

(中部支部)

・中部支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2019年4月20日

第2回常議員会 2020年2月10日

・中部支部 幹事会（6回開催）

第1回幹事会 2019年5月30日

第2回幹事会 2019年7月10日

第3回幹事会 2019年7月31日

第4回幹事会 2019年9月28日

第5回幹事会 2019年11月16日

第6回幹事会 2019年12月17日

・住宅市場研究会

(1) 郊外住宅地部会

【委員：海道清信（部会長）、河崎典夫、村上心、浦山益郎】

・前年度に続いて、部会メンバーが取り組んでいる岐阜県可児市の桜ヶ丘ハイツにおける活動を紹介します。桜ヶ丘ハイツ・櫻ヶ丘内に太陽光発電施設（敷地 4.8ha、発電量 2.0Mw、パネル 6,800 枚）の建設をめぐって、10 項目の協定書を 2018 年 4 月に締結。その後、同年 7 月に桜ヶ丘ハイツ自治連合会の中に作られた太陽光発電対策専門委員会と事業者、更に学識者や市も加わり、月 1 回の 4 者協議の場で「事業計画策定ガイドラインの遵守」「(敷地内にある) 溪水湿地群の保全」「発電設備の適切な維持管理」「災害時の対応」「環境影響や景観」「施設の撤去、処分・廃棄物」「事業継承」「行政への告知」など、17 項目の協定書を 2019 年 10 月末日に事業者と自治連が締結しました。

市内に多くの太陽光発電設備が稼働し、計画されている中で、太陽光発電をめぐる条例の必要性が課題になってきました。昨年の可児市 12 月議会の一般質問で、田原市会議員が市民の安心・安全な生活環境、自然環境を守るために「太陽光条例」の必要性を過去 2 回に統一して取り上げました。12 月 3 日の市の答弁は、条例は法的拘束力がないので、作っても意味がないというものでした。田原議員は「FIT 法」が改正され、現在市は自治体に条例があれば、事業者に遵守の指導をし、守らなければ認定取消しまで含めたことを行うと主張し、条例の必要性を展開しました。平行線で終わりましたが、その後、国の見解が田原議員と同じであったため、前代未聞の一般質問のやり直しが 12 月 20 日に行われ、市は「太陽光条例」を作ることになりました。

自治連太陽光発電対策専門委員会において、10 市の条例を比較検討しながら話し合いを積み重ね、今年 2 月上旬に「可児市太陽光発電設備の適正な設置・運営・廃棄による暮らしと自然環境の保全に関する条例」（自治連条例案）を作成しました。

市がどのような条例を出してくるのか、議会でどのようなやりとりがあるのか、興味津々で進行しつつあります。
・可児市には約4割強の人びとが団地で暮らしています。2019年4月から可児市内の団地におけるまちづくり活動をより活発に進めるために、団地の間の交流の促進や先進事例の学習を行うことを目的とした団地交流懇談会を4つの団地の住民10人で立ち上げました。
可児市内の住宅団地において、団地生活の安心とつながりを高め、コミュニティの活性化をはかるために、各団地でのいろいろな取り組みの情報交換、経験交流、要望のとりまとめや調査研究、イベントなどをを行うことを活動の柱にしています。

2019年10月には高藏寺の押沢台の「プラプラまつり」を見学、12月には岐阜市の芥見東のコミュニティバスをはじめとした取り組みを現地に行って、お話を聴きました。今年2020年の2月は広島市美鈴が丘・社会福祉協議会の宮本暁子さんを招いて「住み続けられる住宅団地に向けて～広島と可児のまちづくり交流会～」を開催しました。

(2) 住宅再生部会

【委員：村上心（部会長）、川野紀江（幹事）、

研究者・行政・民間30名程度】

活動なし

(3) 公共住宅部会

【委員：松山明（部会長）、林直孝（幹事）、

研究者・行政・民間20名程度】

7月3日 住宅政策の新たな展開について

（歌代純平氏 国土交通省中部地方整備局建設部
住宅整備課長） 参加者：12名

8月28日 商店街商業機能再生モデル事業について

（宮原務氏 名古屋市市民経済局地域商業課係
長、浅野健氏（株）都市研究所スペーシア取締
役計画室長） 参加者：9名

11月2日 濑戸市菱野団地見学会及び菱野団地再生計画について

（山村和弘氏 濑戸市都市整備部都市計画課課長、
協力：矢野公嗣氏 濑戸市都市整備部都市計画
課計画係） 参加者：10名

2月12日 住宅政策と金融

（中野秀也氏 独立行政法人住宅金融支援機構東
海支店 地域営業第一グループ） 参加者：8名

(4) 住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之（部会長）、小川、小野、大崎、尾崎、

谷村、他4名】

活動なし

(5) 「なごやの住宅と住宅地」

なごやの住宅・住宅地 第二版を刊行

（関西支部）

・関西支部 常議員会（6回開催）

第1回常議員会 2019年5月15日

第2回常議員会 2019年7月4日

第3回常議員会 2019年9月28日

第4回常議員会 2019年11月11日
第5回常議員会 2019年12月13日
第6回常議員会 2020年2月17日
第7回常議員会 2020年3月26日（書面協議）

[研究委員会の設置状況]

2019年度は4つの研究委員会が活動を継続

郊外・すまいと鉄道研究委員会

子育て支援住環境研究委員会

団地における3公連携研究委員会

タワーマンション研究委員会

[郊外・すまいと鉄道研究委員会]

研究会開催：これまでの研究成果をもとにして、書籍として取りまとめることを検討 2019年

7月19日 鉄道事業の近代における展開と多様化について

8月29日 郊外駅の特徴と未来像について

10月2日 郊外住宅地の変容と未来

多様化する鉄道事業～鉄道各社の取り組みについて

11月28日 郊外地域の中・若年層、郊外住宅地の変容と未来

郊外駅の特徴と未来像、多様化する鉄道事業～鉄道事業者の沿線観～連携による沿線の活性化

1月9日 魯籍構成案検討、事業者ヒアリング、郊外駅の現状・駅を中心とした街の展望

3月7日～8日 合宿により意見交換を実施

[子育て支援住環境研究委員会]

<全体研究会>

第7回全体研究会 2019年5月25日

各委員の研究の進捗状況について惜報共有した。

第8回全体研究会 2019年10月21日

各委員の研究の進捗状況について情報共有した。また、活動の取りまとめの方向性について議論した。2021年度末を目処に、活動の成果をとりまとめることになった。

第9回全体研究会 2020年2月26日

各委員がこれまでの研究・活動成果について報告し、また、活動成果報告書の体裁や具体的な内容について議論した。

[団地再生WG]

第12回WG 2019年7月19日

堀川団地再生において羽入された子育て世帯向け改修住戸の現地見学を行った。

第13回WG 2019年11月11日

堀川団地の子育て世帯向け住戸のヒアリング調査の進捗報告、今後の研究の方向性（設計実験WSの実施、樫原団地の調査）について議論を行った。

[団地における3公連携研究委員会]

・「戸建住宅を含むニュータウン全体の住み替えにおける3公の連携」都市住宅学会関西支部記念フォーラム

2019年4月20日 14:00～17:00

[タワーマンション研究委員会]

・研究会

第24回研究会 2019年7月3日
第25回研究会 2019年8月9日
第26回研究会 2019年9月18日
第27回研究会 2020年3月16日

・ヒアリング調査

第6回ヒアリング調査（2019年5月12日）シンガポール
超高層マンション居住者ヒアリング
第7回ヒアリング調査（2019年10月28日）神戸市役所都市局計画課

・アンケート調査

第1回管理組合へのアンケート調査 2019年6月1日郵送配布・郵送回収

・現地調査

第6回現地調査（2019年5月9日～14日）シンガポール超
高層住宅視察

第7回現地調査（2019年10月14日）広島基町団地視察

・全国大会ワークショップ（2019年12月1日）

「タワーマンションの規制は必要か」

杉山 丞（ライオンズタワー仙台広瀬 前管理組合法人理事長 東北大学特任教授）

齊藤広子 横浜市立大学 教授

臼田利之 都市住宅研究センター 研究員（タワーマンション研究委員会委員）

三浦 研 京都大学 教授（タワーマンション研究委員会委員）

鈴木裕二 公益財団法人都市活力研究所 専務理事（タワー
司会 岡絵理子 関西大学 教授（タワーマンション研究委
員会委員）

・大阪市都心地域で建設中のタワーマンションの資料収集
を行った。

（中国・四国支部）

・中国・四国支部 常議員会（5回開催）

第1回常議員会 2019年4月13日

第2回常議員会 2019年7月25日

第3回常議員会 2019年11月1日

第4回常議員会 2020年1月10日

第5回常議員会 2020年2月12日

空き家活用研究会

第1回ミーティング 2019年7月6日（土）

研究会組織について、調査の枠組みについて、今後の研
究方法 等

第2回ミーティング 2019年10月7日

調査内容、今後の進め方について 等

第3回ミーティング 2019年10月19日

データ共有方法の確認

・見学会

2020年1月25日～26日

テーマ：広島県・瀬戸内海沿岸の空き家・空き施設活用事例
を巡る

見学先：江田島市・コミュニティースペース「フウド」

御手洗地区空き家活用事例

竹原市町並み保存地区

（九州支部）

・九州支部 常議員会（3回開催）

第1回常議員会 2019年4月13日

第2回常議員会 2019年12月12日

第3回常議員会 2020年3月4日

・常議員通信

第1回通信 2019年4月5日

第2回通信 2019年5月22日

第3回通信 2019年6月14日

第4回通信 2019年6月20日

第5回通信 2019年11月7日

第6回通信 2019年12月12日

第7回通信 2020年2月17日

第8回通信 2020年2月27日

第9回通信 2020年2月29日

第10回通信 2020年3月5日

第11回通信 2020年3月17日

第12回通信 2020年3月19日

第13回通信 2020年3月25日

・学生表彰委員会（1回開催）

第1回委員会 2020年3月4日

事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以上

都市住宅学会・2019年度貸借対照表（案）

2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	2019年度	2018年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	103,967	148,914	△ 44,947
普通・郵便預貯金	4,934,062	5,310,362	△ 376,300
定期預金	15,116,470	19,116,470	△ 4,000,000
未収金	13,473,500	18,657,043	△ 5,183,543
前払金	0	0	0
立替金	0	408,815	△ 408,815
流動資産合計	33,627,999	43,641,604	△ 10,013,605
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
基本財産合計	30,368,125	30,368,125	0
(2) 特定資産			
定期預金	45,126,259	41,126,259	4,000,000
特定資産合計	45,126,259	41,126,259	4,000,000
固定資産合計	75,494,384	71,494,384	4,000,000
資産合計	109,122,383	115,135,988	△ 6,013,605
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,879,252	17,120,900	△ 8,241,648
前受金	2,280,000	1,342,000	938,000
預り金	268,046	219,798	48,248
流動負債合計	11,427,298	8,951,106	2,476,192
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	11,427,298	8,951,106	2,476,192
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	97,695,085	96,453,290	1,241,795
(うち特定資産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
正味財産合計	(41,126,259)	(41,126,259)	(0)
負債及び正味財産合計	97,695,085	91,418,183	6,276,902
	109,122,383	100,369,289	8,753,094

都市住宅学会・附属明細書(案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

2. 引当金の明細

該当ありません。

都市住宅学会・2019年度正味財産増減計算書(案)
2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2019年度	2018年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の分			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入 基本財産利息収入	3,035	2,023	1,012
② 特定資産運用益(利息収入) 定期預金利息収入	4,076	3,940	136
③ 受取入会金 入会金収入	69,000	56,000	13,000
④ 会費収入 正会員・準会員 賛助会員	13,613,610	14,304,630	△ 691,020
⑤ 事業収入 研究受託収入 事務受託収入 支部研究受託収入 支部交付金	15,116,000	25,393,088	△ 10,277,088
⑥ 受取補助金等 補助金等収入 研究成果公開促進費	0	0	0
⑦ 受取寄付金 指定寄付金 一般寄付金	26,204	409,000	△ 382,796
⑧ 雑収益 受取利息 雑収入	2,007,390	1,385,776	621,614
経常収益計	30,839,315	41,554,457	△ 10,715,142
(2) 経常費用			
① 事業費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 論文集発行費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 秋季全国大会費 シンポジウム費 研究成果公開促進費 基盤研究費(間接経費) 国際交流費 事業費予備費 図書購入費 雑費	22,842,663	27,382,379	△ 4,539,716
② 管理費支出 給与手当 臨時雇賃金 福利厚生費 会議費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 賃借料 諸謝金 租税公課 研究委託費 事務委託費 総務費 図書購入費 雑費 雑損	6,754,857	9,136,971	△ 2,382,114
経常費用計	29,597,520	36,519,350	△ 6,921,830
当期経常増減額	1,241,795	5,035,107	△ 3,793,312
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,241,795	5,035,107	△ 3,793,312
一般正味財産期首残高	96,453,290	91,418,183	5,035,107
一般正味財産期末残高	97,695,085	96,453,290	1,241,795
II 指定正味財産増減の部			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	97,695,085	96,453,290	1,241,795

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の分				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	3,035	0	0	3,035
② 特定資産運用益(利息収入)				
定期預金利息収入	0	4,076	0	4,076
③ 受取入会金	48,300	20,700	0	69,000
入会金収入	48,300	20,700	0	69,000
④ 会費収入	7,487,486	6,126,124	0	13,613,610
正会員・準会員	6,373,186	5,214,424	0	11,587,610
賛助会員	1,114,300	911,700	0	2,026,000
⑤ 事業収入	10,581,200	4,534,800	0	15,116,000
研究受託収入	10,399,200	4,456,800	0	14,856,000
事務受託収入	182,000	78,000		260,000
支部研究受託収入	0	0		0
支部交付金	0	0	0	0
⑥ 受取補助金等	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0
⑦ 受取寄付金	0	26,204	0	26,204
指定寄付金	0	0	0	0
一般寄付金	0	26,204	0	26,204
⑧ 雜収益	1,405,173	602,217	0	2,007,390
受取利息	1,373	589	0	1,962
雑収入	1,403,800	601,628	0	2,005,428
経常収益計	19,525,194	11,314,121	0	30,839,315
(2) 経常費用				
① 事業費支出	22,842,663	0	0	22,842,663
給与手当	3,581,613	0	0	3,581,613
臨時雇賃金	14,000	0	0	14,000
福利厚生費	493,110	0	0	493,110
会議費	220,067	0	0	220,067
旅費交通費	701,373	0	0	701,373
通信運搬費	142,412	0	0	142,412
消耗品費	123,989	0	0	123,989
印刷製本費	166,230	0	0	166,230
論文集発行費	2,404,225	0	0	2,404,225
賃借料	1,489,970	0	0	1,489,970
諸謝金	1,749,387	0	0	1,749,387
租税公課	396,767	0	0	396,767
研究委託費	7,651,683	0	0	7,651,683
事務委託費	392,280	0	0	392,280
秋季全国大会費	700,000	0	0	700,000
シンポジウム費	937,990	0	0	937,990
研究成果公開促進費	21,998	0	0	21,998
基盤研究費(間接経費)	1,117,500	0	0	1,117,500
国際交流費	205,746	0	0	205,746
事業費予備費	0	0	0	0
図書購入費	0	0	0	0
雑費	332,322	0	0	332,322
② 管理費支出	0	6,754,857	0	6,754,857
給与手当	0	1,534,976	0	1,534,976
臨時雇賃金	0	6,000	0	6,000
福利厚生費	0	211,332	0	211,332
会議費	0	94,313	0	94,313
旅費交通費	0	300,589	0	300,589
通信運搬費	0	61,034	0	61,034
消耗品費	0	53,137	0	53,137
印刷製本費	0	75,672	0	75,672
賃借料	0	638,558	0	638,558
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	170,043	0	170,043
研究委託費		3,279,292		3,279,292
事務委託費		183,720		183,720
総務費		1,656		1,656
図書購入費		0		0
雑費		142,422		142,422
雑損		2,114	0	2,114
経常費用計	22,842,663	6,754,857	0	29,597,520
当期経常増減額	△ 3,317,469	4,559,264	0	1,241,795
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,317,469	4,559,264	0	1,241,795
一般正味財産期首残高	43,087,500	53,365,790	0	96,453,290
一般正味財産期末残高	39,770,031	57,925,054	0	97,695,085
II 指定正味財産増減の部				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	39,770,031	57,925,054	0	97,695,085

都市住宅学会・附属明細書(案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

2. 引当金の明細

該当ありません。

財産目録(案)

2020年3月31日現在

科 目	内 訳		合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			(20, 154, 499)
現金			103, 967
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局（振替）	運転資金として	626, 797
	千代田区飯田橋郵便局（普通）	運転資金として	192, 020
普通預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	1, 741, 270
	みずほ銀行麹町支店	運転資金として	115, 867
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として	102, 505
	三菱UFJ信託銀行本店	運転資金として	12, 593
	七十七銀行本店営業部	運転資金として	81, 390
	三菱東京UFJ銀行栄町支店	運転資金として	425, 699
	りそな銀行北浜支店	運転資金として	299, 154
	広島銀行五日市支店	運転資金として	874, 636
	西日本シティ銀行箱崎支店	運転資金として	462, 131
定期預金	千代田区飯田橋郵便局（定期）	運転資金として	100, 000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	12, 000, 000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として	3, 016, 470
未収金			(13, 473, 500)
未収金		日本政策投資銀行 委託費	2, 000, 000
		UR委託研究費	9, 856, 000
		科研費 吉田先生分担金 間接経費	1, 117, 500
		関東支部 事務管理費	500, 000
前払金			0
立替金			0
仮払金			0
流動資産合計			33, 627, 999
2 固定資産			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	(30, 368, 125)
	三井住友銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 105, 542
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用	10, 137, 865
特定資産			(41, 126, 259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	公益目的事業に必要なその他の業務の用に供する財産であり運用益を管理費の財源として使用	41, 126, 259
固定資産合計			71, 494, 384
資産合計			105, 122, 383
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			(8, 879, 252)
	その他事業費	交通費 会議出席（振込金額誤り 500円分未払い）	500
	その他事業費	UR 千葉再生リサーチ 再委託費	1, 600, 000
	その他事業費	UR 社会空間研究所 再委託	1, 300, 000
	その他事業費	社会空間研究所 自主研究委託費	2, 700, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 長岡氏	500, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 福井氏	500, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 板垣氏	400, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 檜谷氏	200, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 高田氏	100, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 田中氏	100, 000
	その他事業費	日本政策投資銀行謝金 氷鉋氏	100, 000
	その他事業費	うち半額の未払い分)	540, 000
	その他事業費	2018年度分未払い謝金	338, 752
	その他事業費	本部への関東支部事務委託費	500, 000
前受金	2020・2021年度年会費		2, 280, 000 (268, 046)
預り金	源泉所得税等	報酬税および職員の所得税・社会保険料	268, 046
流動負債合計			11, 427, 298
負債合計			11, 427, 298
正味財産			93, 695, 085

差出人 : [Munetomo Ando](#)
宛先 : [都市住宅学会事務局](#)
件名 : Re: 【重要・至急確認お願い】都市住宅学会 2019年度事業報告および決算案 監査のお願い(5月15日16時まで)
日付 : 2020年5月15日 2:00:09

都市住宅学会担当者様

お世話になっております。
日本大学経済学部の安藤至大でございます。

一点だけ、事業報告案のp.3左側10行目について、
第140回の実施年が2020ではなく2021になっているという誤記を見つけました。

それ以外は問題ないと考えます。
どうぞよろしくお願ひします。

監査報告書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2020年5月 15日

監事（安藤至大）

私は、公益社団法人都市住宅学会の2019年4月1日から2020年3月31までの2019事業年度の事業及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。
また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

2.1 事業監査の結果

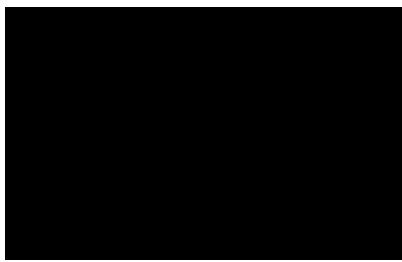
(1)当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2)事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

2.2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上



> 2020/05/14 0:12、都市住宅学会事務局 <t-info@uhs.gr.jp>のメール:
>
> (公社)都市住宅学会
> 監事 安藤 至大 先生
>
> お世話になっております。都市住宅学会事務局です。
> 2019年度事業報告案および収支決算案について監査をお願い申し上げます。
>
> 添付の2019年度事業報告案および2019年度収支決算案についてご確認の上、
> もし内容について問題がない場合にはこのメールを引用の上、
> 下記様式を本文に貼り付け、氏名・日付をご記入いただいて
> 本メールへの返信によって、5月15日16時必着にてご提出をお願い申し上げます。
>
> 別添資料
> 1:2019年度事業報告案および2018年度収支決算案
> 2:2019年度収支決算案(参考資料_支部別)
> 3:2019年度総勘定元帳
>
> 添付資料3は決算資料ご確認のための参考資料です。
> 上記に加えて毎年提出している「普通預金通帳写し」「2019年度末残高証明書」
> につきましては、追って本日中にお送り致します。
>
> ※総会開催の2週間前までに開催通知を出す必要があると定められていることから、
> 先生の監査に先立って資料を学会ホームページに掲載し、すでに開催通知を出してあります。
> 今年は感染症問題に伴う学会執務の停滞等のため決算資料の作成が例年よりも遅れ、
> 総務企画委員長のご指示によりそのように進めさせて頂いております。
>
>
> (監査報告書:下記にご記名いただき、ご返信をお願い申し上げます。)
>
> *****
>
>
> **監査報告書**
>
>
> 公益社団法人都市住宅学会
> 会長 ◆毗銚◆雄 殿
>
> 2020年 月 日(←日付記入お願いします)
>
>
>
>

差出人 : [Toru Ishikawa](#)
宛先 : 都市住宅学会事務局
件名 : Re: 【重要・至急確認お願い】都市住宅学会 2019年度事業報告および決算案 監査のお願い(5月15日16時まで)
日付 : 2020年5月14日 12:05:10

都市住宅学会事務局 御中
回答いたします。
よろしくお願ひいたします。
石川 徹

監査報告書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2020年5月14日
監事（石川徹）

私は、公益社団法人都市住宅学会の2019年4月1日から
2020年3月31日までの2019事業年度の事業及び会計に
ついて監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から
事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その
事業及び財産の状況を調査しました。

また、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、
事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書に
ついて監査を実施しました。

2. 監査の結果

2.1 事業監査の結果

(1)当学会の事業については、法令及び当学会の
年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されて
おり、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は
認められません。

(2)事業報告書は、当学会の事業運営の状況を
正しく示しているものと認めます。

2.2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と
認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の
決算報告書に係る財産及び損益(正味財産増減)の
状況をすべての重要な点において正しく示している
ものと認めます。

以上
